

転写禁止

E L I Cビジネス&公務員専門学校

自己点検評価報告書

令和8年度
(令和7年度評価)

記載責任者 森 登志男
記載者 木村 公一

I 自己点検評価の意義

ELIC ビジネス & 公務員専門学校では、文部科学省の「学校評価ガイドライン」に沿って、実行及び検証を行うことで自己点検評価報告書を作成し、この学校評価を適正な学校運営と教育改革に取り組む一助とする。

II 学校評価者

①自己点検評価

ELIC ビジネス & 公務員専門学校の全教職員が「自己点検評価者」となり、自己点検評価を実施する。自己点検評価担当者が内容をまとめ、自己点検評価報告書（案）を作成する。

【自己点検評価者】

校 長	森 登志男	
事 務 長	高田 典明	
教務部長	木村 公一	
指導部長	加藤 佳明	
渉外主任	徳永 好宣	
教務主任	西 託民	
教 諭	水本 貴久	
教 諭	長谷川 靖洋	
教 諭	瀬木 翼	
教 諭	水谷 奈月	
教 諭	平田 真理恵	
教 諭	高橋 佑樹	
教 諭	高山 宗一郎	
事務主任	伊藤 亜希子	以上 14 名

【自己点検評価担当者】

教務部長	木村 公一	
教 諭	水谷 奈月	
事務職員	伊藤 亜希子	以上 3 名

②自己点検評価委員会

ELIC ビジネス & 公務員専門学校自己点検評価委員会は、次の本校教職員で構成される。

校 長	森 登志男	
事 務 長	梅村 浩司	
教務部長	木村 公一	
指導部長	加藤 佳明	
渉外主任	徳永 好宣	
教務主任	西 託民	以上 6 名

③学校関係者評価委員会

ELIC ビジネス & 公務員専門学校に関係している多様なステークホルダーであり、多角的方面より評価をいただく。構成する関係者は次のとおりである。

在学生保護者	2 名	
本校卒業生	2 名	
企業担当者	1 名	
地域関係者	1 名	以上 6 名

Ⅲ 評価項目の評価及び取組状況

1. 教育理念・目的・目標

評価基準
 評価3「基準を上回り、特質すべき取り組みを行っている」
 評価2「基準をおおむね満たす場合」
 評価1「基準を満たしておらず改善が必要な場合」

項 目	評価
1. 教育理念、目的及び目標の設定等	
①教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしていること。	3
【エビデンス】 学園規程・学則・学内規程・学生便覧・年度初め発行書類一覧・各教室に掲示・アドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシー・学生案内・募集要項・HP	

2. 教育課程、教育の実施、学修成果

評価基準
 評価3「基準を上回り、特質すべき取り組みを行っている」
 評価2「基準をおおむね満たす場合」
 評価1「基準を満たしておらず改善が必要な場合」

項 目	評価
1. 教育課程の編成と授業科目	
①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成した上で、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置していること。	2
【エビデンス】 学則・学内規程・学生便覧・学校案内・シラバス・カリキュラムポリシー・教育課程編成委員会議事録・HP	
2. 教育の実施	
①授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っていること。	3
【エビデンス】 シラバス・学則・学内規程・学生便覧・成績評価基準・講義概要・期末試験問題及び答案・テキスト一覧表	
②企業等と連携した、実習、実技、実験又は演習等(以下「実習・演習等」という)の授業を行っていること。教育目標の達成に必要な企業等と連携した実習・演習等の単位時間または単位数の総授業時数に占める割合を具体的に設定していること。	2
【エビデンス】 シラバス・学則・学内規程・学生便覧・職業実践専門課程申請書類	

3. 単位・卒業認定	
学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針(資格・免許等を含む修得させる職業能力を含む)を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしていること	2
【エビデンス】 シラバス・学則・学内規程・学生便覧・卒業認定基準・成績評価に関する規程・卒業進級審査会議資料	
4. 学修成果目標の 達成状況	
①卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得(資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得含む。)についての目標を定め、その目標が達成できていること。	2
【エビデンス】 学校案内・資格受験報告書・指導要録・資格取得一覧表(クラス毎)・シラバス・学生便覧・教職員の個人目標	
②学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できていること	3
【エビデンス】 進路決定報告書・就職関連指導シラバス・就職実績報告書・会社訪問報告書・公務員試験報告書・進路データ・卒業生アンケート	

3. 学生の受入れ学生支援

項 目	評価
1. 学生募集及び入学者の選抜、収容 定員の管理	
①入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、可否を決定していること。	3
【エビデンス】 学園規程・学則・学内規程・募集要項・アドミッションポリシー・学校案内・HP・願書・選考結果資料	
②学生の受入れは、入学定員に基づき適正に行っていること。	3
【エビデンス】 学園規程・学則・学内規程・募集要項・アドミッションポリシー・学校案内・HP・願書・選考結果資料・学校基本調査	

2. 自主的な学習の促進に対する支援	
学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援に取り組んでいること。学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っていること。	2
【エビデンス】 シラバス・時間割・補習予定表・学生カード・入学前課題・入学の手引・プレスクーリング・問題演習アプリ・解説動画配信・素養試験・新入生アンケート	
3. 多様な学生に対する支援	
適切な体制を構築し、障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生に対する支援を行っていること。	2
【エビデンス】 優先トイレ・車いす用エレベータ・学生カード・入学願書一式・職務分掌表・OpenCampus 用資料 募集要項・学校案内・HP・チラシ	
4. 学生生活に関する支援	
①カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営していること。	2
【エビデンス】 「名古屋市子ども・若者総合相談センター 金山 Branch」提携・学生カード・面談記録・欠席超過者面談・保護者会・年度初め書類一覧	
②留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っていること。	2
【エビデンス】 保護者向けオリエンテーション・保護者会（年2回）・欠席欠課遅刻連絡・学生カード・欠課超面談・入学時アンケート・授業アンケート・卒業時アンケート・行事アンケート	
③学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用していること。	2
【エビデンス】 健康診断の実施・保健室・救急セット・AED・学年暦	
④学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	3
【エビデンス】 学費の減免・分割納付申請書・募集要項・学園規程・学内規程・公的奨学金制度の説明資料・適格認定資料・奨学金選考員会議事録・公的奨学金制度の申請状況	
⑤学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	2
【エビデンス】 学生便覧・シラバス・学年暦・職務分掌表・進路決定状況表・企業との協定書・就業一か年調査・就職アンケート	

4. 教育実施組織・教員

小項目	評価
1. 教員の配置、募集、採用	
①教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等(教員の採用基準等)を整備し、適正に運用していること。	2
【エビデンス】 履歴書・教員募集案内・非常勤募集案内・採用基準・新任研修・授業参観・教職員面接	
②教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時数等を把握していること。 また、教員の専門性、教授力を把握、評価していること。	3
【エビデンス】 私学振興室申請資料・学内規程・時間割・星取表・非常勤講師内規・授業アンケート・履歴書・職務経歴書	
2. 教員の組織編制等	
①学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めていること。	2
【エビデンス】 履歴書・組織図・職務分掌表・個人目標・教室管理一覧表・担任一覧表・講師会議資料	
②教員間で連携、協力体制を構築していること。	2
【エビデンス】 組織図・職務分担表・職員会議議事録・運営委員会議事録・講師会議資料	
3. 教員の資質の向上	
①学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めていること。	2
【エビデンス】 職業実践専門課程申請書・教職員研修資料・企業連携授業・研修報告書	
①-2 特に職業実践専門課程においては、企業等と連携して組織的に行っていること。	2
【エビデンス】 教職員研修資料・研修報告書・職業実践専門課程申請書	

②教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的にやっていること。	2
【エビデンス】 職員研修資料・研修報告書・職業実践専門課程申請書	

5. 教育環境

項 目	評価
1. 教育環境の整備	
①教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えていること	2
【エビデンス】 教室設備（プロジェクター・プリンター・Wi-Fi 環境・電源供給）・学校支給パソコン・学校設置パソコン時間割・学校設置認可申請書	
②学生の学習支援のための施設(自習室等)を整備していること。また、学生の休憩、食事のためのスペースを確保していること。	3
【エビデンス】 時間割・教室配置図・図書室・学生ホール・応接室・空き教室。名古屋サテライト教室	
③図書室を設置し、専攻分野の教育に必要な専門書及び参考図書を配架し、必要に応じて学生が閲覧できるようにしていること。	2
【エビデンス】 教室配置図・図書室	
2. 安全対策、防災組織	
①学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っていること。	2
【エビデンス】 危機管理マニュアル・防災訓練実施要領・防災マニュアル・地震防災マニュアル・各種設備点検	
②火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営していること。	2
【エビデンス】 危機管理マニュアル・防災訓練実施要領・防災マニュアル・地震防災マニュアル・学生便覧・学校内規・消防設備点検・防災訓練実施要領及び報告書	

3. 安全対策、防災 組織	
①施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っていること。	2
【エビデンス】 管理教室一覧表・補修依頼申請書・設備の点検計画・電気設備点検記録報告書	
②施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施していること。	2
【エビデンス】 新年度予算案・施設の改築、改修計画・修繕記録・中期事業計画・卒業記念品購入計画・職務分掌表	

6. 教育活動の基盤と改善・向上の取組

項 目	評価
1. 中期事業計画と財務基盤	
①当該専修学校が策定している中長期的計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられていること。	2
【エビデンス】 学園中期計画（完成年度令和9年）、本校の中期計画（完成年度令和9年）、本校の事業計画・運営委員会議事録・理事会、評議会議事録・プロジェクト報告書・職務分掌表	
②当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立していること。	2
【エビデンス】 財務計画・財産目録・貸借対照表・資金収支計算書・事業活動収支計算書・事業報告書・HP・学園広報誌「コミュ」	
2. 学校運営	
①学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われていること（職業教育に関するマネジメント（教育の企画・設計・運営等における責任体制を含む。）。）	2
【エビデンス】 組織図・職務分掌表・運営員会議事録・学園規程・学則・学内規程・プロジェクト報告書・学生便覧・年度初め書類一覧・理事会、評議会議事録・私学振興室申請資料・学校日誌	

3. 学校評価の実施と改善活動	
①学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用していること。	2
【エビデンス】 学校関係者評価報告書・学校関係者評価委員会議事録・教育課程編成委員会報告書・自己点検評価報告書・保護者会・保護者向けオリエンテーション・就職セミナー	
①-2 特に職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会を年2回以上開催していること。	3
【エビデンス】 教育課程編成委員会議事録、職業実践専門課程報告書	
②学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表していること。	3
【エビデンス】 HP・自己点検評価報告書・学校関係者評価報告書・職業実践専門課程報告	
③学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っていること。	2
【エビデンス】 学校評価報告書（自己点検評価報告書、学校関係者評価報告書）・教育課程編成委員会報告書・議事録・改善計画・改善報告書	
4. 社会からの理解と情報の公表	
①当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表していること。	3
【エビデンス】 HP・学校評価報告書（自己点検評価報告書、学校関係者評価報告書）・教育課程編成委員会報告書・LINE・Instagram・TikTok・YouTube・学校案内	
②教育目的・目標の達成状況や活動状況(こついで関連する教育機関、産業界等をはじめ、社会全体からの理解を得るよう取組んでいること。	2
【エビデンス】 教育課程編成委員会報告書・HP・学年暦・学校評価報告書（自己点検評価報告書、学校関係者評価報告書）・LINE・Instagram・TikTok・YouTube・学校案内・各種チラシ・ボランティア活動	